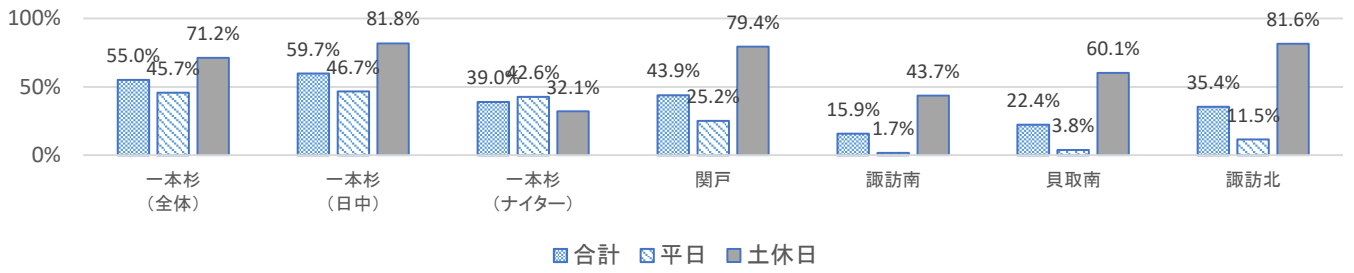
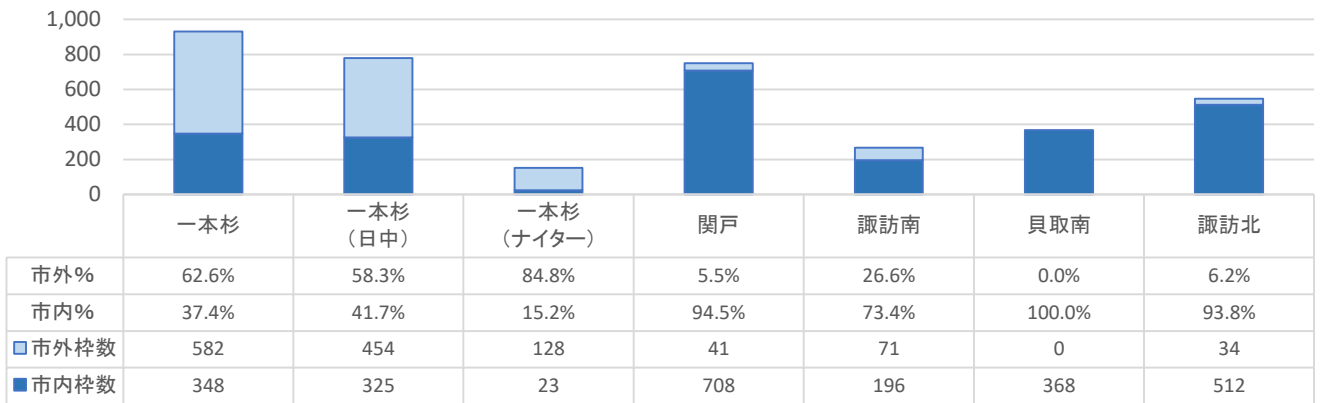


平成30年度野球場に係る利用状況分析結果

野球場稼働率



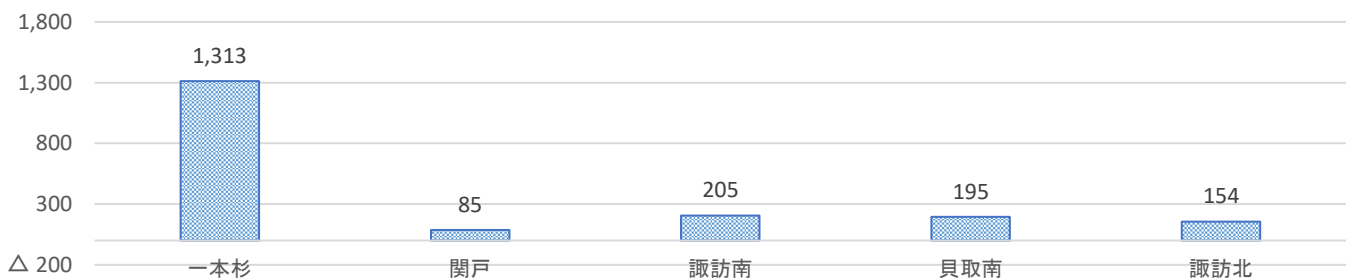
市内市外別野球場枠数



野球場収支額(千円)



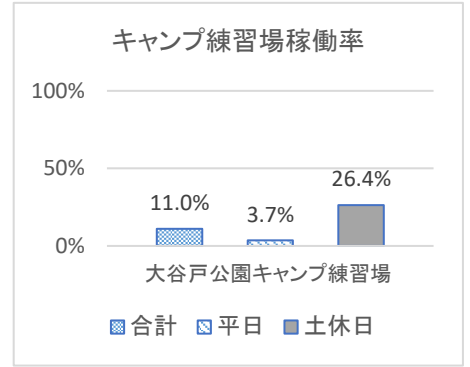
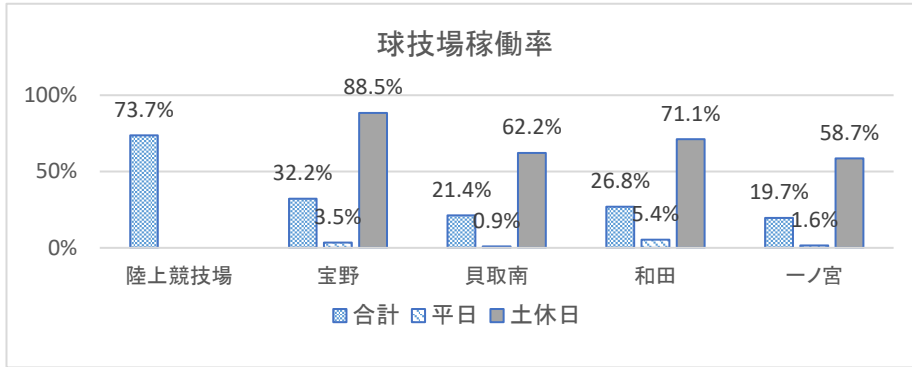
野球場利用1人当りコスト(円)



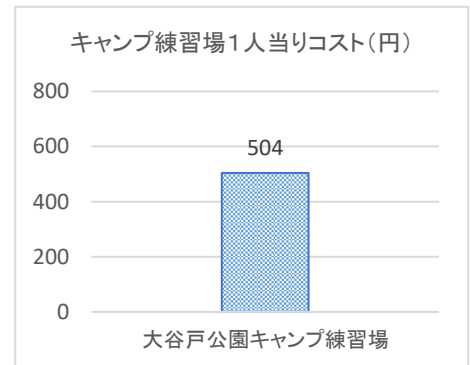
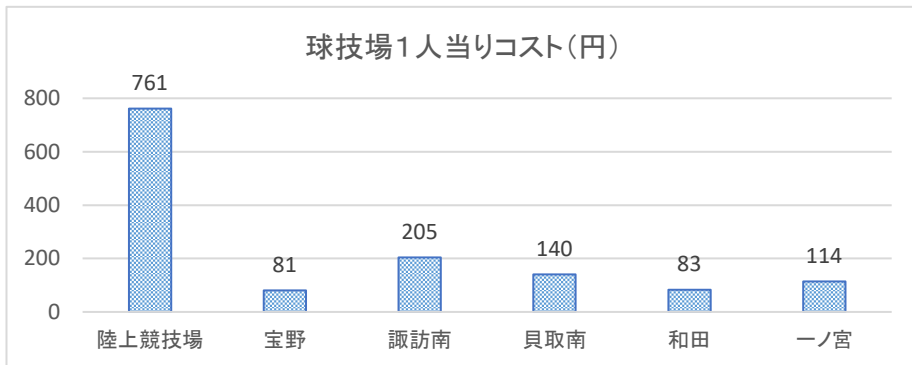
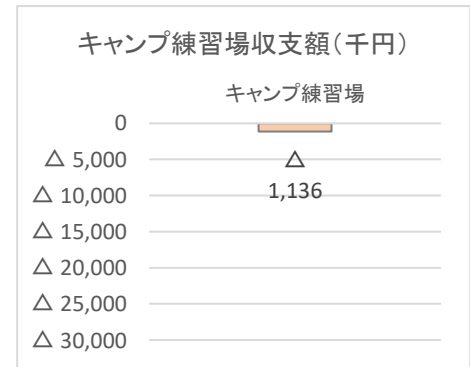
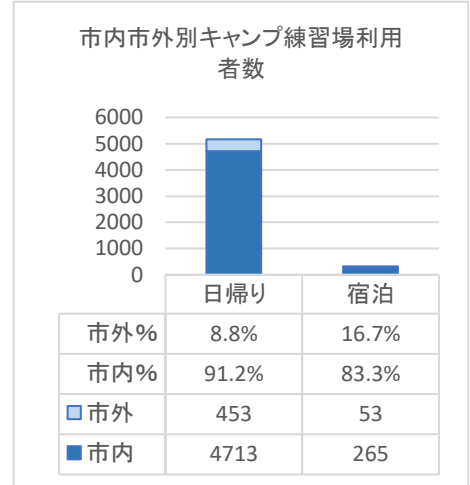
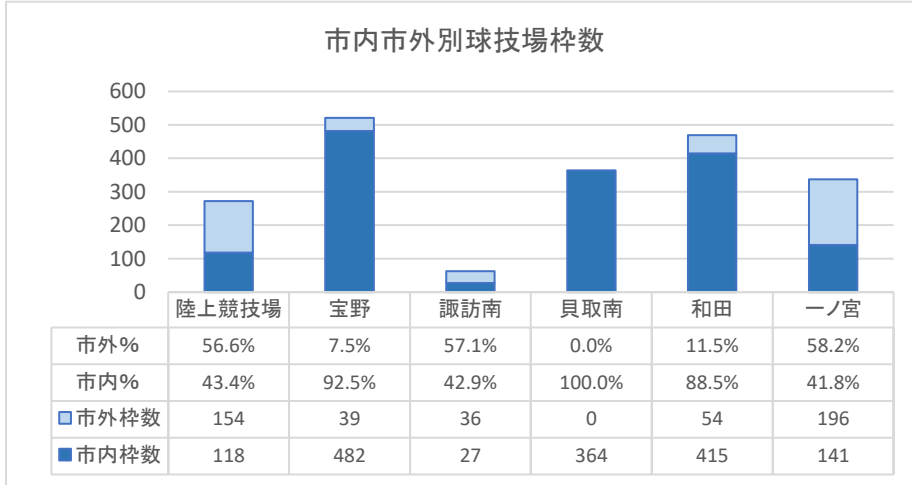
【ポイント】

- ① 諏訪南公園野球場、貝取南公園野球場、諏訪北公園野球場は平日の稼働率が低い。
- ② 休日の稼働率は諏訪南公園野球場で5割未満となっているが、他の施設は6～8割程度稼働している。
- ③ 一本杉公園野球場は、市外高等学校野球部等の利用が多いことから、市外利用団体の割合が高い。
- ④ 一本杉公園野球場は、恒常的に整備等の維持管理を行っていることから、他施設より高い利用料金としているものの収支額のマイナス幅が大きい。

平成30年度球技場・キャンプ練習場に係る利用状況分析結果



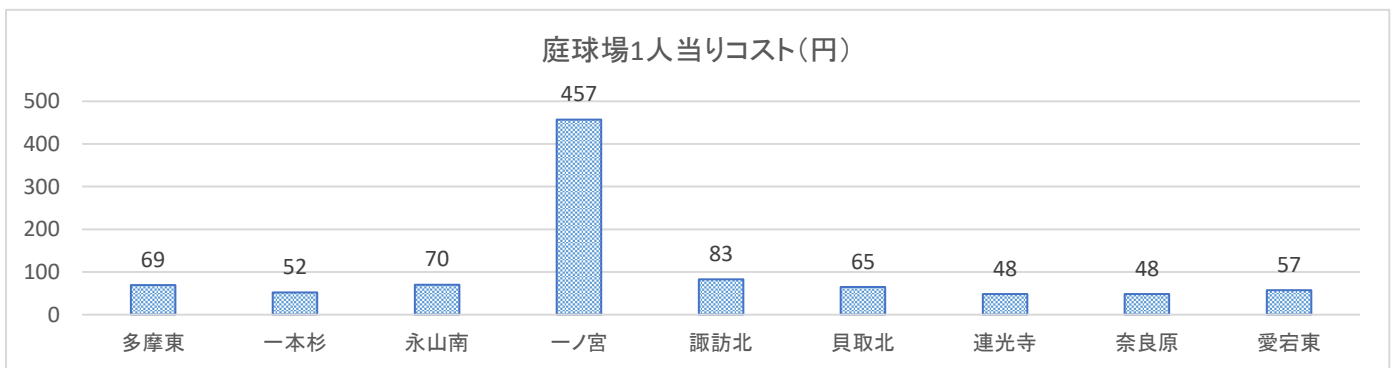
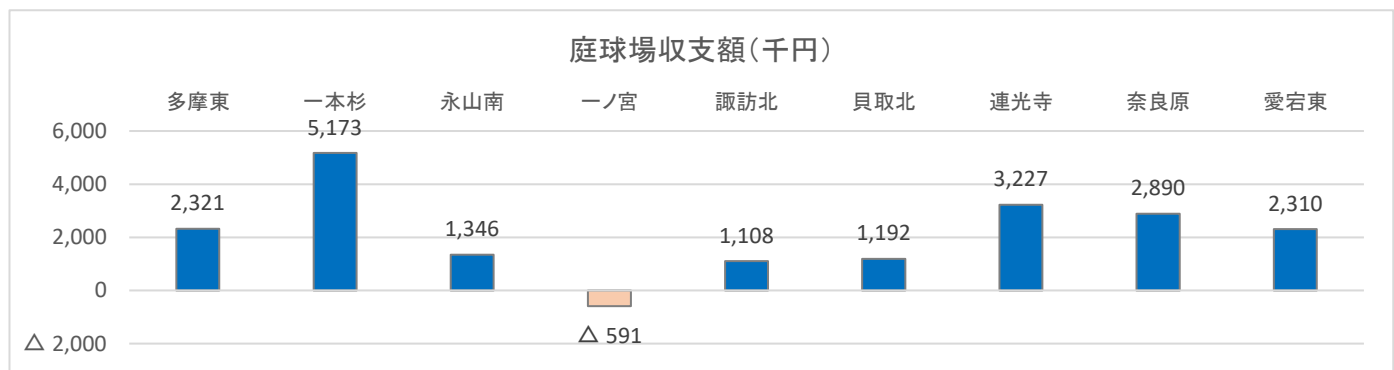
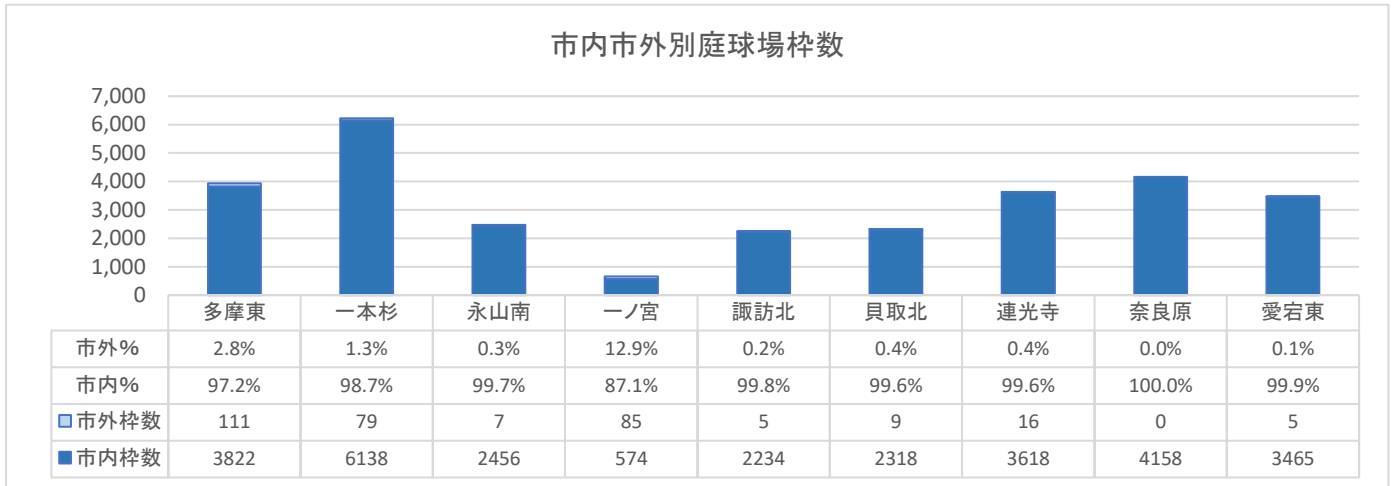
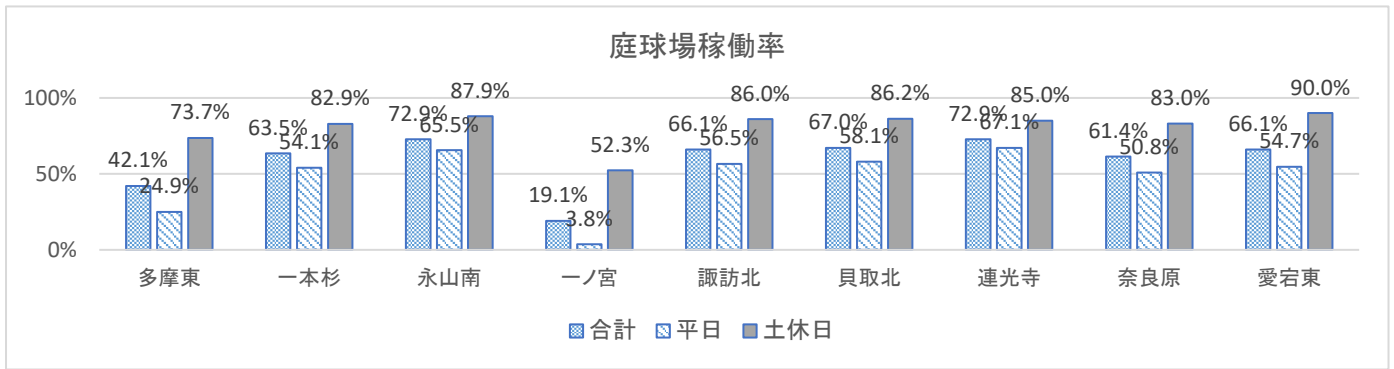
※陸上競技場の稼働率 = インフィールド使用回数 ÷ 年間利用制限回数(95回)



【ポイント】

- ①全ての施設で平日の稼働率が低い。諏訪南公園球技場及びキャンプ練習場については、休日の稼働率も低い状況である。
- ②陸上競技場は東京ヴェルディとの協定により東京ヴェルディが利用していることから、市外団体利用割合が高くなっている。一ノ宮公園球技場については、市外大学ラグロス部等の利用が多いことから市外団体利用割合が高くなっている。
- ③陸上競技場については、管理棟を有し管理人を置いていること、天然芝の維持管理を行うために一定の費用を要することからコストが高い状況にある。
- ④キャンプ練習場については、火を扱うことから安全管理のため1団体でも利用があれば管理人を現地に配置するためコストが高い状況にある。

平成30年度庭球場に係る利用状況分析結果



【ポイント】

- ①庭球場は全体的に平日も含めて稼働率が高くなっている。ただし、一ノ宮公園庭球場については、稼働率が低い状況にある。多摩東公園庭球場も他施設より稼働率が低い、平成30年度までクレートで天候により使用出来ない期間が長かったことが原因である。
- ②市内登録者による利用がほとんどであり、市外利用は非常に少ない。
- ③収支状況は各施設で収入が維持管理費を上回っているが、一ノ宮公園庭球場のみ下回っている。